

団体名： 稲 武 商 工 会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					目標	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	実施側の評価	調査結果				事業者への
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に、経営指導員等が事業所へ訪問し、金融相談・税務相談・労務相談等経営全般について指導をすることにより、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	巡回指導日数 年間138日 巡回指導実企業数78事業所（内非会員分 6事業所） 巡回指導延件数 342件（内非会員分 10件） 窓口指導実企業数35事業所（内非会員分 3事業所） 窓口指導延件数 77件（内非会員分 3件） 課題解決提案件数 11件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 72.2%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 110.0%)	得られた効果	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	補足	目標 ①下げる②現状維持 実施方法 両方現行どおり	巡回目標、巡回地域目標にそって巡回活動をし、全小規模事業者の巡回を1年に1回は行うよう努める。	○
記帳継続指導	正しい記帳方法や、決算・確定申告の指導をし、税務申告と、記帳に対する個々の意識を高めることにより、試算表から経営状態の把握と向上を図ることを目的とする。	記帳の仕方や試算表の見方等の指導 1人、指導事業所数54件 指導日数 197日 指導回数 717回 記帳継続個別指導会を実施回数8回、参加者延64人	小規模事業者	指標	記帳指導事業所数 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	記帳継続指導では、記帳継続事業への満足度が高く、記帳継続事業を通して、正しい税務申告や自店の経営状態を把握することができた。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	補足	目標 両方現状維持 実施方法 現行どおり	H30年度に廃業等で事業所数を減らしたが、新規開業事業所など、新たな記帳指導事業所の開拓に努める。	
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 (集団) 5回 92人 (個別) 13回 103人 計 18回 195人 経営革新セミナー(支部共催)参加者なし	小規模事業者	指標	講習会受講者 (達成度 83.7%)	指標	(達成度 %)	金融・税務等の知識習得や個別相談会をおとし、小規模事業者の資質の向上が図れた。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	研修テーマを早期に決め、早くからPR活動を行う。	○
若手後継者等育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、青年部、女性部が主体となって各種セミナーを開催し、経営に必要な知識・技術の習得や資質の向上を図る。また、全国のリーダーが一同に会する全国大会に参加することで地域のリーダーとしての意識を高め新たな発見を促す。	経営戦略セミナー 経営計画セミナー 12名 「ハローワーク」セミナー11名 危機管理実践セミナー10名 全国大会参加 3名 資質向上セミナー 姿勢を学ぶ 15名 正しい歩き方 11名 全国大会参加 3名 計65名 参加者対象アンケートで満足と答えた割合 100%	小規模事業者	指標	参加対象アンケートで満足と答えた割合 (達成度 100.0%)	指標	講習会・研修会 受講者数 (達成度 108.3%)	3回の経営戦略セミナーに参加することで、準備と取組が必要、更には個々の事業場において経営計画を立てることの重要性を知る事ができた。また、2回の資質向上セミナーでは、お客様をお迎えするという立場を認識するとともに、健康と姿勢に関係性について気づきを得ることができた。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	補足	目標 ①現状維持②上げる 実施方法 両方現行どおり	多くの部員が、積極的に研修に参加するよう、参加募集を積極的に行う。	
祭典事業	各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し地域の産業（地域資源、観光資源）PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	「マイケルおいでん稲武」の開催（7月7日）参加者350名、 出店等参画事業所数 6店 「稲武まつり」への協賛（8月15日）準備・片付け、寄付金集め、踊り 出店等参画事業所数 16店 「ふれあいまつり」への協賛（10月14日）参加者1,200名、出店等参画事業所数8店 計30店	小規模事業者	指標	出店等参画事業者 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	「マイケルおいでん稲武」(7月8日)、「稲武まつり」(8月15日)、「ふれあいまつり」(10月14日)等の事業を通して、各店の商品や店舗を稲武地区内外方々にPRできた。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	スタッフ等で、自店の営業等に支障を感じる人もある。取組方法の検討も必要である。	
商店街・街づくり事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元中小事業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながる事業の実施等、地元事業者の活性化を通して地域振興、街づくりに寄与することを目的とする。	商店街活性化計画をもとに「ソーシャルビジネス「いなぶのお買物配達便」の実施（H30年度）493件1,657,028円 街並みの灯り事業（12/15） 「ハローワーク」の飾付けと「イベント」を使った年末売出しイベントを実施 来場者261名 商店街活性化計画への参画事業者数 22店舗	小規模事業者	指標	商店街活性化計画への参画事業所数 (達成度 88.0%)	指標	(達成度 %)	H25年9月からスタートした「いなぶのお買物配達便」も徐々に周知されつつある。固定客も増えてきており、新規顧客の獲得につながるケースもあり、今後への期待と可能性は大きい。	総合評価	A	実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 A	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	「いなぶのお買物配達便」を地元商店の武器にできるような、一層の周知と事業内容の検討をはかっていく必要がある。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 稲 武 商 工 会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価														
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標
産業活性化事業	地域の特性を活かした地域資源の活用や、特産品の開発普及・PRなどを行い、また、地産地消の推進などを行うことにより、企業の発展及び地域産業の活性化に資することを目的とする。	ふるさとふれあいウオーキング 5月13日 参加者576名 出展者21店 稲武産ギフト「中馬街道のものがたり」 稲武特産品のPRのためギフトを販売 販売実績 53件 231,000円 米粉商品開発プロジェクトを通して新商品開発（4商品）と展示会へ参加とよたの特産品展（1/26・27）	小規模事業者	指標	新たな特産品開発数 (達成度 80.0%)	指標	(達成度 %)	米粉商品開発プロジェクトを活用 ・新たな事業者が、新たな商品開発に取り組む ・新聞等、稲武地区のPRが図れ、出展依頼が増加	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	稲武産ギフト「中馬街道物語」の認知を高め、利用促進を図る活動を行う。	○
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	地区内各種イベントへの参加及び協賛 ふるさとふれあいウオーキング（5/13）、マツカおいでん（7/7）、稲武まつり（8/15）、雪み街道（2/2） 地区ごり7大会主催（11/25） 花街道事業へ参加（花の植替え作業）（1回） 青年部・女性部員数 50名	小規模事業者	指標	青年部・女性部員数 (達成度 106.4%)	指標	(達成度 %)	地区内各種イベントへ積極的に参加することにより、地域社会の発展に寄与し、地域での存在意義を確立してきた。メンバーの意識が高く、地域の活性化を目指し、活動することが部員数の確保にもつながる。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	新たな部員確保のため、部員一丸となって、加入勧奨活動を活発に行う。	
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断事業の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・各種共済の普及推進 特定退職金共済（90件） 中小企業共済（174件） 愛知火災共済（56件） 商工災害生命共済（21件） 計 341件 ・事業所健康診断の実施 22事業所、265人	小規模事業者	指標	共済加入件数（総数） (達成度 98.8%)	指標	(達成度 %)	自社の福利厚生の充実を図り、健全な発展を図るための一助となっている。従業員が減少しているため、共済加入者等は減少傾向ではあるが、加入勧奨を行い大幅な減少を食い止めることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	退職金の備え、健康診断受診の必要性等の理解を得るための活動に重点を置く。	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、労働保険料に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険料の年度更新及び従業員資格取得喪失等の手続きを代行 41事業所 対象従業員210人 ・未加入事業所に加入勧奨 2事業所	小規模事業者	指標	委託事業所数 (達成度 97.6%)	指標	(達成度 %)	小規模事業者の事務処理の適正化及び負担軽減が図れている。更に、委託事業主からは、社会保険をはじめ、従業員雇用に関する相談を多く受け、信頼を得ている。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	労働保険制度の理解を進める啓蒙活動を行う等、加入勧奨に力を入れていく必要がある。	
青色申告会・法人会	青色申告会・法人会等の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国、地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、地域商工業の活性化に資することを目的とする。	○研修会 「古橋家文書研究会の五十年」 他6回 延べ参加者58名 ○地域貢献活動 稲武まつり協賛・人形浄瑠璃「小田木人形座」へ支援 法人会・青申会会員数103名	小規模事業者	指標	法人会・青色申告会会員数 (達成度 93.6%)	指標	(達成度 %)	正しい税知識の習得や情報を得ることができた。また、地域貢献活動により市内中心部からの来訪者に稲武地域のPRが図れた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	どの団体も、会員数の減少が心配されている。新たな会員を増やすためにも、活動内容の検討を行う。	
産業団体	稲武カード会や各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	・稲武カード会 (売出し(8・12月)抽選会(1月)イベント設置(12月)他) ・食品衛生協会稲武分会 (講習会(6月)検便(4・9月)施設検査(非該当)他) ・愛建連北設楽支部 (木工教室(5・11月)他) ・木材組合 各種団体構成員数合計83名	小規模事業者	指標	構成員数（指導団体計） (達成度 92.2%)	指標	(達成度 %)	それぞれの団体により、活動状況に差があり、構成員を増やすためにも活動が活発になるよう協力や指導を行った。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	今年度の事業成果を来年度以降の事業に活かせるような事業を検討する。	
調査・広報事業	当地区内の景気状況や需要動向を把握し、以後の施策や指導に役立てるとともに、回収したデータを分析・公表するとともに必要な諸施策を検討し、効果的かつ効率的な指導に繋げることを目的とする。	地域経済動向調査実施 有効回答 66社（150社中） 需要動向調査を道の駅で実施 調査結果は、理事会等の会議で報告	小規模事業者	指標	地域経済動向調査実施企業数 (達成度 44.0%)	指標	(達成度 %)	全事業所アンケートを送り、多くの回答を得られた。この結果を今後の事業展開に反映させる。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	全事業所のアンケート回収を目標にしたが、限られた期間では無理であった。事業計画をより精査する必要がある。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。